



『QCサークル』誌 2024年11月号 見どころ、読みどころ

★トップからのメッセージ

p. 2～

迫リコー(株) 代表取締役社長 村上 宏幸さん

QCサークル活動の今後に向けて、2つのポイントがあります。第1は品質管理の基礎知識に関する底上げで、昨年度からまずはQC検定の受検者数をKPI(重要業績評価指標)の1つとして掲げています。その結果、今年は80名を超える社員が挑戦してくれました。ポイントの第2は、外の世界を知ることです。まずは地区大会に管理者や一般社員が毎年参加・発表しています。他社の活動ぶりを間近に見て、そのレベルの高さを知ることはとても有意義な経験になるはずで、こうした社員の成長のための機会と時間をしっかりと作り出し、今後の飛躍につなげていければと考えています。

★ザ・ショット 写真で綴るQCサークル紀行

p. 5～

福田金属箔粉工業(株)

同社の改善活動には、複数のスタイルがあります。緊急性・重要性の高い問題を解決するための組織横断的な改善活動。あるいは、個人レベルで気づいた手近な問題点を解決する合理化活動など4つの柱が並び、その1つにQCサークル活動があります。QCサークル活動のメンバー選定は各部署での判断に委ね、それぞれの職場でいろいろとかかわり方などを工夫しながら、実質的にはほぼ全員参加のようです。全社全員参加の中、今回は、製造、研究、営業の3部署が連携している合同サークルに、職域・場所の壁を越えた活動について話を伺ってきました。

★特集：品質管理教育の重要性を今一度考えてみる－QCサークル活動での品質管理の実践－

p. 9～(技術、事務、一般者(標準)、運営/推進)

私たちは「QC的ものの見方・考え方」を学んだうえで、QC手法などの道具や標準類を活用して、「ムダのない、ムラ(ばらつき)のない、良い仕事をムリなく行うこと」が求められます。品質管理教育とは、このような良い仕事を行うことのできる人々を育てることを目的としています。今回の特集では、第一線の職場のメンバーが、PDCAサイクルを回すことで問題解決を行うことができるQC的ものの見方・考え方を含めた品質管理実践のための教育を、それぞれの会社が工夫を凝らして実践している6事例を紹介していきます。

★推進者のページ：推進者・推進事務局のアドバイスでQCサークル活動を楽しく進める工夫

p. 23～(管理者/事務局、運営/推進)

第5回 対策の効果確認の仕方を支援・指導する工夫

改善活動として計画された対策が完了したら、取組みでどのように変わったのか【効果の確認】をすることが大切です。効果確認とは、どれだけの価値・価格・能力の改善があったのかを見定めることです。つまり、立てた目標に対して、どの程度達成できたのかを把握し、結果を評価するステップです。こうした効果の確認を進める際に、推進者・推進事務局がどのようにサークルとかかわり、アドバイスすればよいのかを考えてみましょう。

★サークルQ&A ただいま出勤 QCサークル119番～あなたの困りごとに寄り添います～

p. 30～(サークル、一般者(標準))

カルテ 184

今回は、改善効果が長続きせず、しばらくすると元の状態に戻ってしまい、メンバーのモチベーションも低下してしまうというサークルのお悩みです。6コママンガとともに編集委員がアドバイスします。

★体験事例&ワンポイント事例

今回は、体験事例2件、ワンポイント事例2件紹介します。

体験事例： p. 32～

1. (サークル、製造、改善)

日産車体(株)「ベーストレインサークル」

「燃料タンク振動耐久実験 燃料タンク脱落時に於ける異常停止検知率100%の達成」

2. (サークル、製造、改善)

(株)コロナ「タンカーズサークル」

「熱交ライン熱交自動セット機におけるチョコ回数の撲滅」

ワンポイント事例： p.40～

1. (サークル、製造、改善)

ダイハツ工業㈱「Light you up サークル」

「2次元コード読取NG撲滅による可動率向上 ～白黒はつきりさせたいねん!!～」

★運営のページ 運営事例から学ぼう

P.46～ (管理者/事務局、運営/推進)

公益財団法人小倉医療協会 三萩野病院「コンビサークル」

本ページは、優秀な運営事例の中から運営部分にスポットを当て、QCサークル活動の運営の参考にしていただく企画です。今月は第16回事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門全日本選抜QCサークル大会(小集団改善活動)においてQCサークル本部長賞 優秀賞・審査委員長賞を受賞したサークルの、目標を持ち行動することの大切さを教えてくれる運営事例を学んでいきます。

★私たちの活動を紹介します! <医療・福祉部門編>

P.48～ (医療・福祉)

厚生連高岡病院 師長 細木美奈子

医療・福祉部門で活動しているサークルを紹介する本ページでは、サークルには改善の背景や内容について、推進者にはサークルの育成方法について紹介いただきます。今月は、他部署との連携を推進する工夫を紹介しています。部門間連携の強化をはかりたい組織のみなさんにとって参考になる活動紹介です。

★QC検定道場

P.50～ (サークル、一般者(標準))

第11回 品質の概念、管理の方法

今月号は、QC検定3級の実践編の中から品質の概念ならびに管理の方法についてです。過去に出題された問題とその解説を通じて正しく身につけていきましょう。

★連載講座：日常管理のための8ステップ

p.54～ (サークル、管理者/事務局、一般者(標準))

第5回 いつもと違うこと(異常)に気づくようにする

今月は、日常管理の6番目のステップ「6」管理項目・管理水準の設定と異常の見える化」と7番目のステップ「7」異常の検出・共有と応急処置」に焦点を絞り、異常の検出について詳しく見ていきます。

☆『QCサークル』誌に貴社の広告を掲載しませんか？

会社や自社製品のPRの場として、ぜひご検討ください！

詳細はホームページ http://www.juse.or.jp/qc_circle/をご覧ください。

+++++ 本件に関するお問合せ ++++++

一般財団法人 日本科学技術連盟 『QCサークル』誌編集

TEL : 03-5378-9817 E-mail : editoqcc@juse.or.jp

